

会社の再建を労使で確認

復興まで共に地域社会に貢献

(株式会社 釜石タクシー代表取締役 小澤伸之介)

2012年1月1日 この街の復興まで共に地域社会に貢献する

昨年は、被災地並びに弊社においても大きな変化の年となりました。弊社も震災の直接的被害を受け、幸い人的被害はありませんでしたが、本社営業所全壊・車両14台中3台のみ残り全て流失・破壊されました。事業再興し本年を迎えられましたのも全国各地から車両7台、ジャンボ1台の無償提供等、全自交労連様の御厚情の賜物であります。

特に、国際興業大阪神戸支店様には神戸から釜石まで、運転し直接寄贈して頂き大変感謝しております。

震災以前の経営状況を鑑みても、3.11後は経営再開を一度は断念いたしました。しかし、職員には実際被害に遭われた方々もおり、雇用の確保と職員一人ひとりの会社存続への思いを受け会社再建を決意いたしました。

会社再建を労使で確認後、職員全員一度は解雇し、仮事務所再会まで残った3台の車両を使ってボランティアで働いて頂きました。3.11で多くの形ある資産を失いました。しかし我々は震災を新しい『新生釜石タクシー』を作るチャンスだと前向きに捉えております。岩手地方本部森茂執行委員長の協力等、労使間でコミュニケーションが以前よりも円滑になり再建に向けて会社全体での一体感が生まれた気がします。高齢化・人口減少という環境下、本年目標は『釜石タクシーのファンを増やそう』のスローガンを共有し一丸となって取り組むこと。震災の影響後、被災地では人の流れ、物流等交通の流れが変化し、生活者の交通不便の解消ニーズが増え、タクシー本来の役割が求められているように思います。

釜石市の復興計画がいまだに未知数のまま先行きが不透明な状況でいが、全国からの支援等が無駄にしないよう、この街の復興まで共に地域社会に貢献する所存です。